

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10046001				
授業名	ボランティア・市民活動論 A	形態	講義	単位	2
担当教員	静間 宏治				
開講学期	2024年度 前学期	曜日・時限	水曜5限		
授業目的	社会福祉をはじめとした幅広い分野で活動する際、一般的に「ボランティア」とはどのように捉えられているか、「ボランティア」とは、具体的にどのような活動があるのか、活動分野、種類、関連制度に関する基本的な知識を身につけます。				
授業内容	「ボランティア」という言葉を、私たちは日常的に使っていますが、そもそも「ボランティア」とは何なのでしょう？また、社会福祉と「ボランティア」のつながり、「ボランティア」の思想や考え方、「ボランティア」に関する各種機関、実際のボランティア活動の検証などをとおして、「ボランティア」に関する基本的な知識を習得します。				
到達目標	ボランティア活動をすでにやっている人、これからやってみようと思っている人、それぞれの思いや考えがあると思いますが、社会福祉をはじめ幅広い分野で活動する際の、「ボランティア」の基本的な知識を習得することを、この授業の到達目標とします。				
ディプロマポリシーとの関連性	＜社DP2-(2)> 社会福祉の専門職(社会福祉士等)に足る社会福祉の知識と福祉マインドを持って、社会福祉をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。				
授業形態	講義、ボランティア実践の計画立案、実践および報告を組み合わせて授業を展開する。 本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。 詳細は以下のURLをご参照ください。 <a href="https://www.shukutoku.ac.jp/extra/pdf/chiba2024jitsumukyounin.pdf">https://www.shukutoku.ac.jp/extra/pdf/chiba2024jitsumukyounin.pdf</a> (【千葉キャンパス】2024年度 実務経験のある教員一覧)				
事前・事後学習の所要時間	本科目は、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	レポート提出にて評価をいたします。併せてリアクションペーパーの内容も評価いたします。				
評価基準	レポートの内容(90点)、リアクションペーパーの内容(10点)合計100点にて評価。				
試験・レポート等のフィードバック	学生からの質問・疑問には次回の授業で解説します。 提出されたレポートについては、次回以降の授業内でコメント解説を行います。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習を欠かさないでください。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業内容を確認するとともに、ボランティアに対する自らの考えをまとめておく。
授業内容	本授業の進め方、授業内容、評価方法等について伝えるとともに、ボランティア活動の理念を考える。
事後学習	ボランティアに対する自らの考えと、授業でのボランティア活動の理念との差異を考えてみる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他(2007年)「ボランタリズム」海声社 阿部志郎(1988年)「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他(1999年)

第2回	
事前学習	どうしてボランティア活動をするのか、その動機を自分なりに整理しておく。
授業内容	ボランティア活動は、その動機ないし捉え方によって活動の意味が変わってくる。多方向からの捉え方を検証し、ボランティアの基本的視点を明らかにする。
事後学習	自分がどのような動機ないし視点で、ボランティア活動を考えているかを明確にする。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他(2007年)「ボランタリズム」海声社 阿部志郎(1988年)「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他(1999年)

第3回	
事前学習	災害時のボランティアには、どのような活動があるか調べておく。
授業内容	近年多発する自然災害など、思いがけない災いに対して、どのようなボランティア活動が対応できるのか。またその具体的方法はどのようなものか、吟味する。
事後学習	実際に自分が災害ボランティアに行くこと仮定した場合、どのような活動ができるかイメージする。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他(2007年)「ボランタリズム」海声社 阿部志郎(1988年)「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他(1999年)

第4回	
事前学習	地域コミュニティづくりにおいて、なぜボランティア活動が大切なのか、考えをまとめておく。
授業内容	今日の変動する社会において、人々が相互に支援すること(ボランティア活動)をとおして、地域コミュニティの再生を考える。
事後学習	地域社会とボランティア活動との関連について、検証しておく。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他(2007年)「ボランタリズム」海声社 阿部志郎(1988年)「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他(1999年)

第5回	
事前学習	身近なボランティア活動として、実際何ができるか考えてみる。
授業内容	「住民の支え合いマップ」づくりをし、具体的なボランティアとしての支え合い活動を検証する。
事後学習	自分の住んでいる地域では、どのような支え合い活動ができるか、考えてみる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他(2007年)「ボランタリズム」海声社 阿部志郎(1988年)「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他(1999年)

第6回	
-----	--

事前学習	福祉ボランティアとは何か。福祉ボランティア以外の活動との違いがあるのか、自分の考えをまとめておく。
授業内容	福祉ボランティアとはそもそも何なのか。公的責任の肩代わり？ボランティア側の自己満足？福祉ボランティアの意味を考えてみる。
事後学習	自分ができると思われる、福祉ボランティア活動を考えてみる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第7回	
事前学習	福祉ボランティアと他者とのつながりについて、考えてみる（例えば、地域の住む外国人とのつながりなど）
授業内容	福祉ボランティア活動が広げる、他者とのつながりやかかわりを考えつつ、共に生きることとボランティア活動について考察する。
事後学習	自分の生活している地域に、外国人に対する福祉ボランティア活動があるかどうか調べてみる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第8回	
事前学習	社会福祉協議会活動について調べておく。
授業内容	地域福祉の推進を図ることを目的とする団体である社会福祉協議会と、地域福祉、ボランティアの関係を考えていく。
事後学習	地元の社会福祉協議会活動を調べる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第9回	
事前学習	今まで行ったボランティア活動を振り返ってみる。
授業内容	一人暮らし高齢者への支援や、障がい者支援としてのボランティア活動を、事例をとおして考える。
事後学習	高齢者や障がい者に対するボランティア活動は、どのようなものがあるか挙げてみる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第10回	
事前学習	ボランティア活動が、大学において単位認定されているかどうか、調べておく。
授業内容	見返りを求めない、それがボランティアと言われるが、ボランティアをすることで単位がもらえることについて、どう考えるか。グループ・ディスカッションを行う。
事後学習	グループ・ディスカッションを受けて、自分の考えをまとめる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第11回	
事前学習	身の回りに、ボランティアが提供する福祉サービスがあるかどうか、調べておく。
授業内容	ボランティアによる生活支援と、家族・コミュニティとの関係を考える。また有償ボランティアという概念について吟味する。
事後学習	有償ボランティアについて、自分なりの考えをまとめる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第12回	
事前学習	これまで中学・高校で学習した、福祉教育・ボランティア教育についてまとめておく。
授業内容	ボランティアにおける教育的な意味を検討する。ボランティア活動には他者と自己の相互的関わりがある。このことから、他者と共に生きることを学ぶ視点を考える。
事後学習	自分が経験してきたボランティアには、どのような教育的意味があったか、自分なりに考えをまとめる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第13回	
事前学習	ボランティアと市民活動のそれぞれの特徴を調べておく（その1）
授業内容	行政協力型ボランティア活動と市民活動に視点を置き、それぞれの活動の性質・特徴を明らかにし、行政機関とボランティア・市民活動の関係を考える（その1）
事後学習	自分の住んでいる地域には、どんな市民活動があるか調べてみる（その1）
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第14回	
事前学習	ボランティアと市民活動のそれぞれの特徴を調べておく（その2）
授業内容	行政協力型ボランティア活動と市民活動に視点を置き、それぞれの活動の性質・特徴を明らかにし、行政機関とボランティア・市民活動の関係を考える（その2）
事後学習	自分の住んでいる地域には、どんな市民活動があるか調べてみる（その2）
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

第15回	
事前学習	今までの授業資料を振り返り、ボランティア・市民活動についてまとめておく。
授業内容	今までの授業を振り返り、ボランティア・市民活動の基本的な知識を再確認し、これからの生活におけるボランティアの意味を明らかにする。
事後学習	ボランティア・市民活動に対する自分の視点を、明確にさせる。
参考文献	「福祉ボランティア論」有斐閣 三本松政之他（2007年）「ボランティアリズム」海声社 阿部志郎（1988年）「ボランティア学を学ぶ人のために」世界思想社 内海成治他（1999年）

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;社DP-2&gt; 【社会福祉学分野における知識・技能・態度】 社会福祉学に関する価値、倫理、理論、方法を体系的に理解しそこから培われる福祉マインドを持って、さまざまな実践の場で活用する技能・能力を身に付けている。</p> <p>&lt;社DP2-(1)&gt; 社会福祉学やソーシャルワークに関する基本的かつ体系的な知識を身に付けている。</p> <p>&lt;社DP2-(2)&gt; 社会福祉の専門職(社会福祉士等)に足る社会福祉の知識と福祉マインドを持って、社会福祉をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。</p>
-----------	--